

船舶事故等調査報告書

平成26年10月23日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014仙第47号
事故等種類	運航不能（推進軸故障）
発生日時	平成26年6月21日（土） 08時40分ごろ
発生場所	山形県酒田市酒田港西方沖 酒田市所在の酒田灯台から真方位290° 12.6海里付近 （概位 北緯39° 01.0′ 東経139° 34.0′）
事故等調査の経過	平成26年7月7日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 東山丸、5トン未満（長さ7.48m）
船舶番号、船舶所有者等	211-4659山形、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	なし
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成26年6月21日05時30分ごろ酒田港西方沖の釣り場に到着して釣りを開始し、その後、釣り場を北東方に移動して航行中、08時40分ごろ、主機の動力がプロペラに伝達されなくなり、航行できなくなった。 本船は、海上保安本部へ救助を要請し、来援した巡視艇にえい航されて酒田港に入港した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風速 約3m/s、視界 良好 海象：波高 約1m
その他の事項	船長は、本船を平成2年～3年ごろ中古船で購入した後、10年ほど前までは週に2～3回使用していたが、最近では、年間3～4回使用しており、主機の総運転時間は、約3,800時間であった。 船長は、毎年1回、本船を陸揚げして点検を行っていた。 船長は、本インシデントが発生するまで、プロペラ軸等に異常を認めなかった。 本船は、酒田港に入港後、修理会社が調査したところ、プロペラ軸ユニバーサルジョイントのピンが脱落しており、主機の動力がプロペラに伝達されない状態となっていた。 脱落したピンは、発見されなかった。
分析	
乗組員等の関与	不明
船体・機関等の関与	不明
気象・海象の関与	なし

<p>判明した事項の解析</p>	<p>本船は、酒田港西方沖で釣り場を移動して北東進中、プロペラ軸ユニバーサルジョイントのピンが脱落したことから、主機の動力がプロペラに伝達されなくなり、運航不能となったものと考えられる。</p> <p>プロペラ軸ユニバーサルジョイントのピンは、回収されなかったことから、同ピンが脱落した経緯を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本インシデントは、本船が酒田港西方沖で釣り場を移動して北東進中、プロペラ軸ユニバーサルジョイントのピンが脱落したため、主機の動力がプロペラに伝達されなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 船体を陸揚げした際、プロペラ軸ユニバーサルジョイントのピンの詳細な点検を行うこと。</li> </ul>